

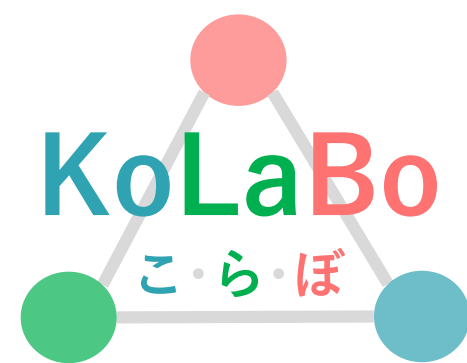
【登録者用】

連携授業に関する情報提供のお願い



神戸市教育委員会事務局
学びの推進課

教育連携システム「KoLaBo」マニュアル【登録者用】



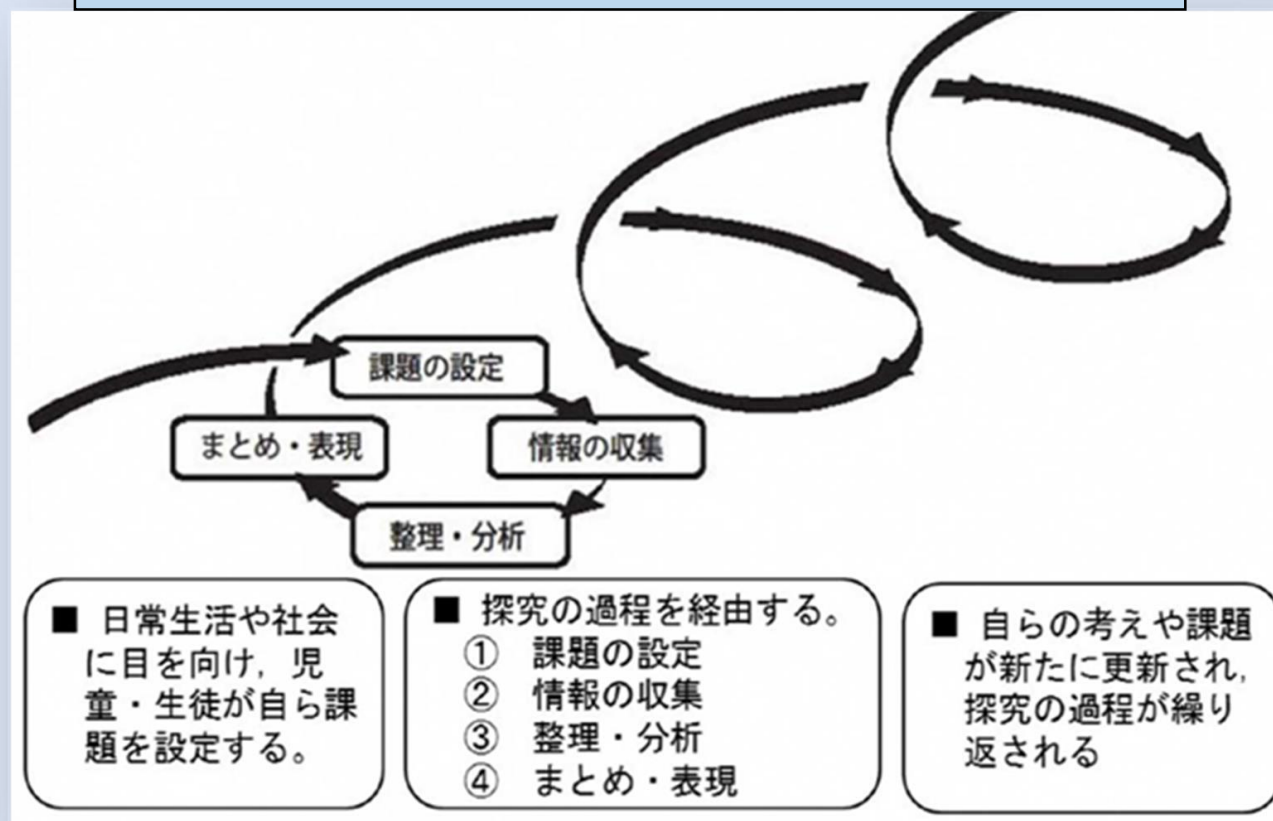
- 1. 連携授業の意義 P.3～
- 2. 連携授業におけるポイント P.6～
- 3. プログラムを登録して実施 P.12～
 - ① 事業者・プログラム登録 …P.13～17
 - ② 学校から連携授業（登録プログラム）へ申込 …P.18～19
 - ③ 連携授業の申込への回答 …P.20
 - ④ 連携授業の調整・実施 …P.21
- 4. 学校からの連携依頼に協力して実施 P.22～
 - ① 学校からの連携依頼確認 …P.23
 - ② 学校への回答 …P.24
 - ③ 連携授業の調整・実施 …P.25

1. 連携授業の意義

連携授業を通じて児童生徒の「探究的な学習」を推進します。



「探究的な学習」における児童生徒の学習の姿



「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 中学校編」(令和4年3月 文部科学省)より抜粋

「探究的な学習」が求められる背景

「予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる」

①予測できない事態に対応せざるを得ない

ほとんどの場合「正解がない」「経験がない」

②課題は複雑に絡み合い、ひとりでは到底解決できない

多様な他者と協働して納得解を作り出す

③より積極的に未来に関与する必要が出てくる

未来を見据え、人間の価値や強みを生かす

→より良い学校教育を通じて、体験的に学び取る

→連携授業を通じて社会に参画する意欲を高める

出典：「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（中央教育審議会答申；平成28年12月21日）

学校教育目標を共有し、「探究的な学習」を通して 児童生徒の資質・能力を育成します

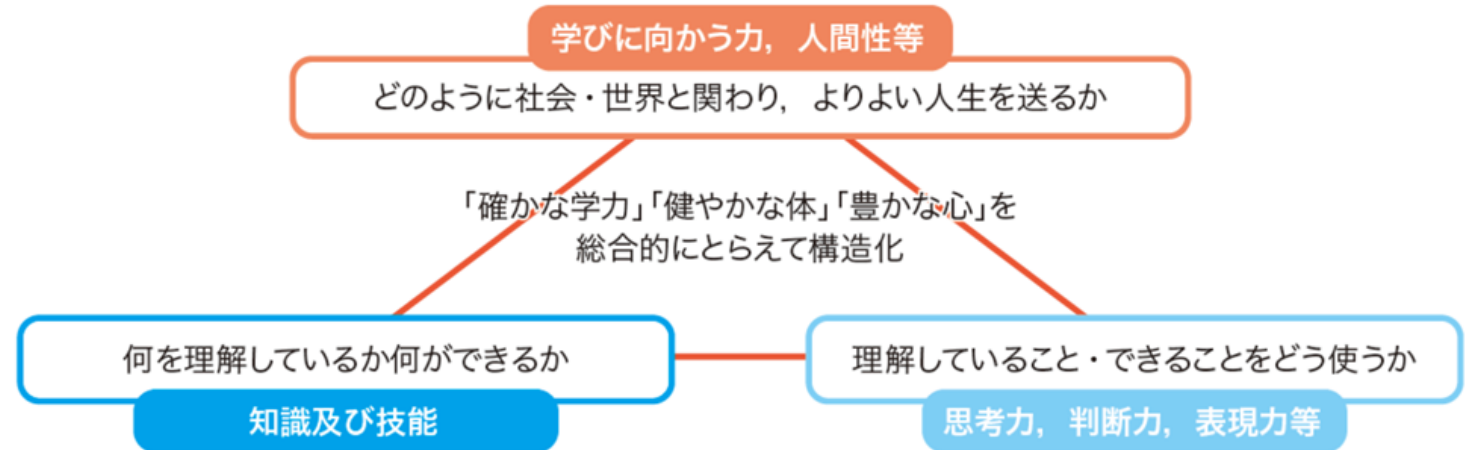
学校教育目標

育成したい児童生徒像



育成を目指す資質・能力の三つの柱

学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。



【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

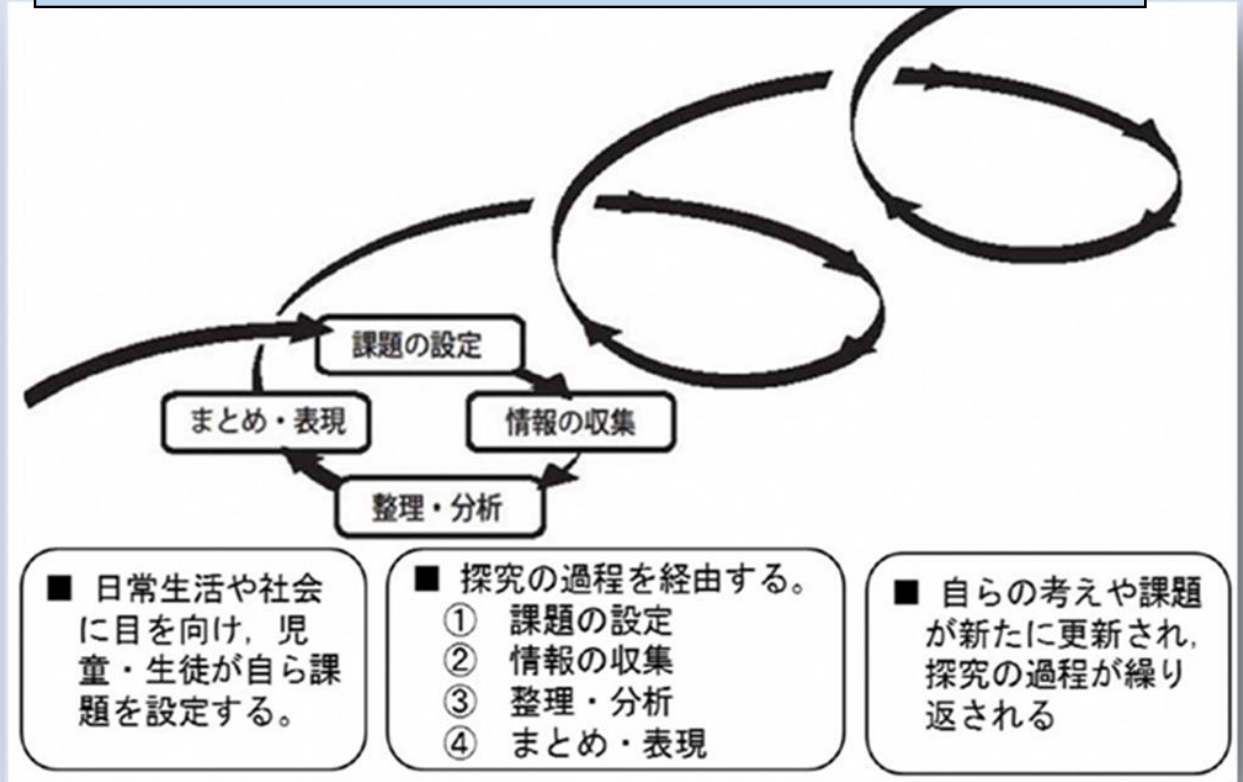
2. 連携授業におけるポイント

連携授業を通して「探究的な学習」を推進するために

「課題の設定」→「情報の収集」
→「整理・分析」→「まとめ・表現」
の探究的な学習の場面で

専門家の立場から、説明、助言、
講評などのサポートをお願いします。

「探究的な学習」における児童生徒の学習の姿



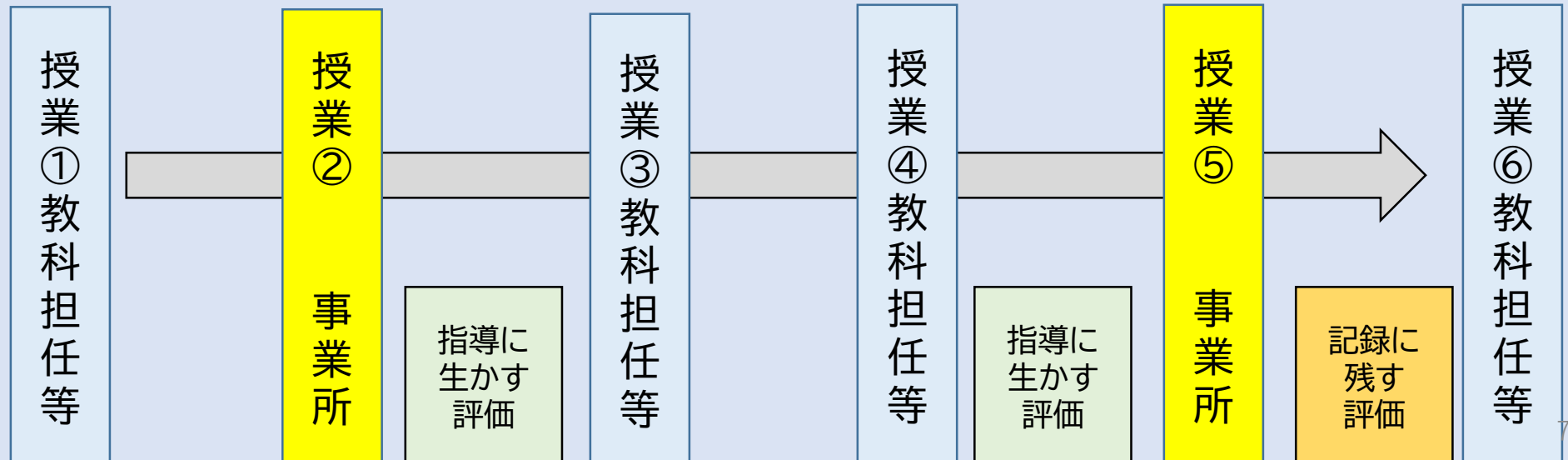
「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 中学校編」(令和4年3月 文部科学省)より抜粋

授業のまとまりの中で専門家としてのサポートをお願いします。

- (1) 学習テーマに基づいて、一連の授業を連携して展開します。
- (2) したがって、どこかの場面で、授業やサポートをお願いします。
- (3) 単発的ないわゆる「出前授業」ではなく、担当教員との打ち合わせの中で、よりよい学習活動となるよう、ご協力をお願いします。(授業の回数等についても特に制限はありません。)

【授業イメージの例】

授業のまとまりの中で、児童生徒の学習評価を行います。



(事例1)「課題の設定」 専門家としてサポート

対象への憧れから課題を設定する。

地域や社会のために仕事をしている人との出会いは、「自分もより深く関わりたい」、「その人に近づきたい」という対象への憧れを抱かせます。対象のよさや価値、現在の状況等を実感することを通して、課題を設定していきます。

実践例 地域を支える産業を対象とした課題の設定

専門家としての説明、仕事への思い等をお伝えください。

- 1 地域を支える産業について知る。
- 2 実際に仕事を体験したり参加したりする。
- 3 携わる人の思いや願い、現状などを聞く。
- 4 よさや価値、現在の状況等から課題を見いだす。

【授業設定のポイント】

- 対象の吟味
 - ・対象を選定する際は、探究的な学習となり得る対象かどうか吟味する。
- キャリア教育・自己の生き方との関連
 - ・対象や社会との関わりの中で、自分らしい役割の果たし方や生き方を考える機会となるよう留意する。

【学習の振り返り】

「実際に仕事をしてみると、とても大変だったね。」

「でも、感謝の言葉がとても嬉しかったです。」

「〇〇さんは地域のためなら頑張れると言っていたよ。」

「仕事に対しては色々な考え方があるね。私たちは大人になったとき、何のために働くべきかを考えよう。」



(事例2) 「情報の収集」 インタビューで協力する

個人インタビューで情報を収集する。

個人インタビューでは、例えば専門的な立場の人の知識や経験、努力や工夫などの情報を直接得ることができます。チェックリストを活用して取材の準備を行うこともよいでしょう。

実践例 専門家への取材による情報収集



【授業設定のポイント】

- インタビューの目的の明確化
 - ・ 何を知るためにインタビューするのか自ら説明できるようにしておく。
- 内容の再検討
 - ・ 訪問前にインタビューメモを作成し、取材内容を吟味しておく。
- 訪問先との事前の調整
 - ・ 生徒が依頼する前に、訪問先に趣旨を伝え、連絡調整を行うようにする。

リモートインタビューから情報を収集する。

すぐに話を聞きに行ける距離ではない相手には、リモートインタビューで情報を集めることができます。画面越しに間近で表情を見たり、声を聞いたりしながらインタビューできるだけでなく、相手の理解を取ったうえでインタビューの録音や録画も可能で、デジタル情報として蓄積することもできます。

実践例 リモートインタビューで情報収集



【授業設定のポイント】

- ICT環境の確認
 - ・ カメラ付きパソコンやタブレット型端末などが整っているかを確認する。
 - ・ 通信環境が整っているかを確認する。
 - ・ インタビューを行う相手先のICT環境も事前に確認する。
- 質問事項等の事前連絡
 - ・ 事前にどのような質問をするか相手に知らせておくこととスムーズに取り組むことができる。
 - ・ 質問をしていく中で、新たに聞きたいことが出てくる場合もあることを事前に伝えておく。
 - ・ 通信状況がよくない場合や固まった場合に対応するか事前に確認しておく。

(事例3)「整理・分析」 専門家の視点からアドバイス

KJ法的な手法を用いて整理・分析する

収集した情報を比べ、似たもの同士を同じ類型に入れてタイトル付けを行い、他のものと区別します。また、新たに入手した情報はこれまでの枠組みで類型化することで、多量の情報を効率よく処理していくことができます。

実践例 バス利用者の減少と高齢化問題の整理・分析

専門家の視点からアドバイスをお願いします。

- 1 何のために整理・分析するのか、目的を確認する。
「町の特徴や利用者の状況から、なぜ、バスの利用者が減少しているのかを考えよう。」
- 2 調査してわかったことや体験して感じたことをカードに書き出す。(1枚のカードに1つの事項)。
- 3 内容が同じカードのまとまりを作り、タイトルを付ける。
- 4 まとまりの関係性が見いだされた場合は、矢印や線でつなぎ、関係性を明示する。

【授業設定のポイント】

- 話し合いを通しての分類
 - ・ 分類していく際、カードの内容について話し合いながら情報を共有し、理解して分類する。
- まとまり間の関係を明示
 - ・ まとまり間の関係を検討する際には線や矢印で結びながら全体を整理する。
- 教科等との関連
 - ・ 例えば、国語科の情報の扱い方に関する事項の学習など。



「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 中学校編」(令和4年3月 文部科学省) p42

(事例4)「まとめ・表現」 専門家として講評する

保護者や地域社会などに向けた報告会でまとめ・表現する

自分たちが取り組んできた活動の成果等について、広く社会に発信することによって、達成感や自己肯定感、協働的に学び合うことのよさを実感することにつながります。

実践例 保護者や地域住民, 企業の方に向けた発表会

1 発表会に参加される保護者や地域住民, 企業の方に対して発表後の感想を述べていただくよう依頼する。

2 各グループの発表を行う。

保護者や地域住民, 企業の方の感想

- 「目標をはっきりさせて、調べたりまとめたりしてきたことはすばらしい。他の勉強にも生かしてほしい。」
- 「去年の発表より、内容が整理され、多角的に分析されていたし、発表者が自分の考えをしっかりとっていたので分かりやすかった。」
- 「来年の発表では、家の人や地域の人にやってほしいことなども提案してほしい。」

3 教師は保護者や地域住民, 企業の方の感想を整理し板書にまとめる。

【発表会後の生徒の感想】

Aさん: 今日は、〇〇さんに認めてもらってうれしかった。これからも地域の方々に認めてもらえるような提案をしていきたい。

Bさん: 厳しい意見をいただいたけど、それだけ私たちの取組に真剣に向き合ってくれていることがわかった。内容を見直して再度提案したい。

【授業設定のポイント】

●外部評価の場の設定

・保護者や地域住民のほか、情報収集のために講師を招いた授業を行っていた場合はその講師などを招き、活動の価値や改善点に関して、感想や意見を述べてもらうよう依頼する。

●教師によるファシリテート

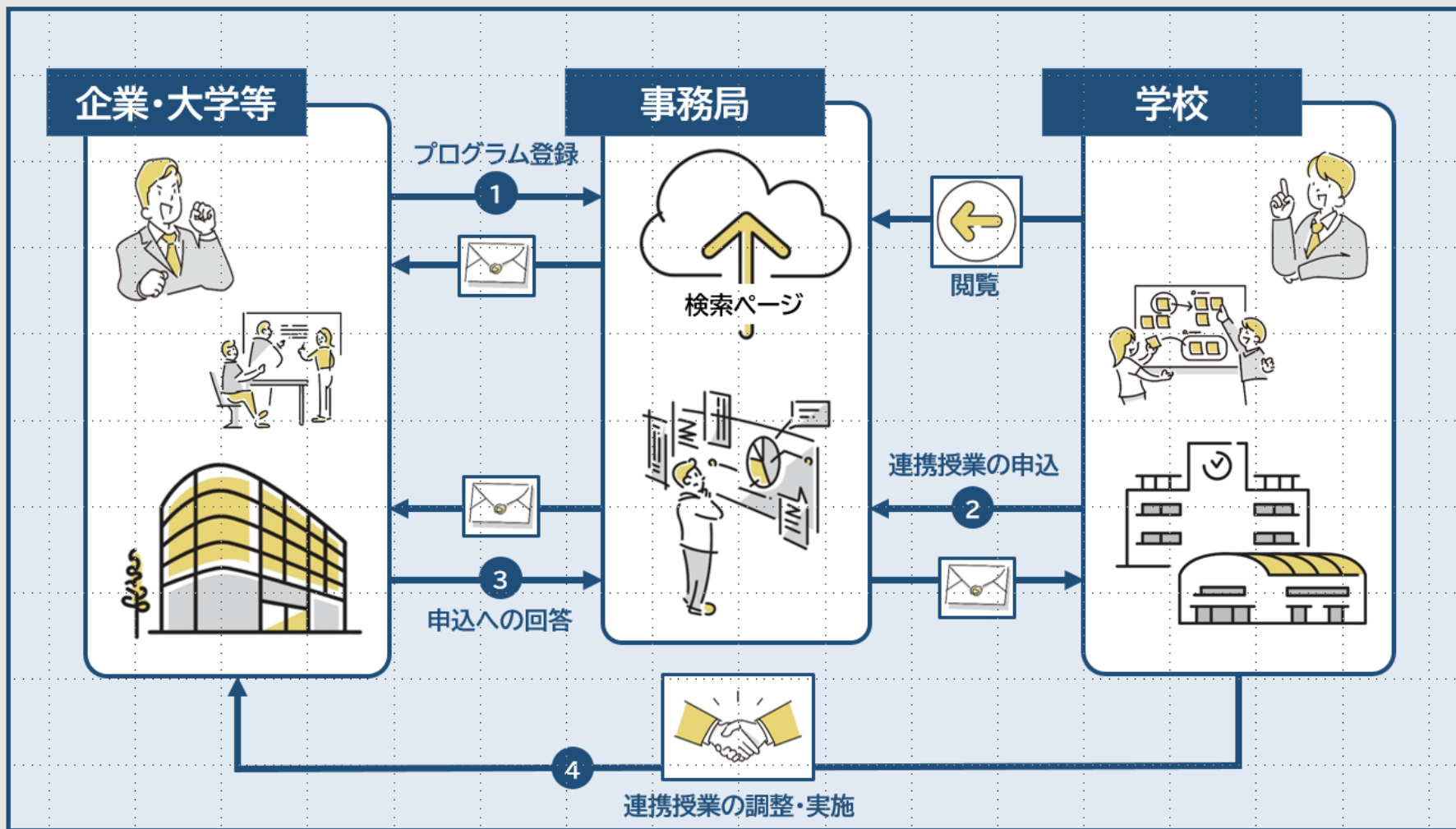
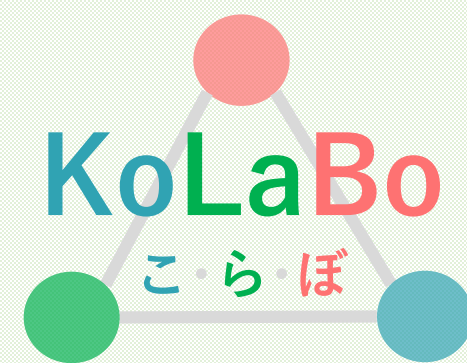
・感想や意見を板書で整理したり、生徒と保護者等との間に入り「〇〇についてはどうですか？」などと対話を促したりする。

●教科等との関連

・例えば、国語科における話すこと・聞くことに関する学習（提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動）など。

3. プログラムを登録して実施

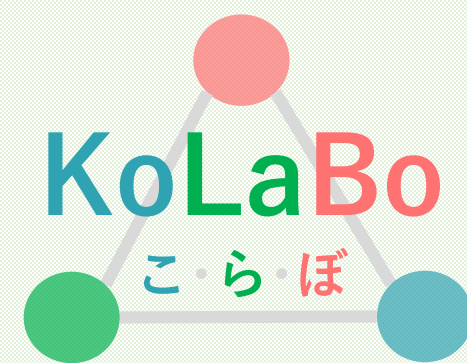
連携授業実施の流れ



- ① 事業者登録・プログラム登録
- ② 学校から連携授業 (登録プログラム)へ申込
- ③ 事業者から学校へ実施可否の回答
- ④ 連携授業の調整・実施

3. プログラムを登録して実施

①-1 事業者登録・プログラム登録



1. 下記ページより、事業者情報・プログラム情報を登録申請ください。

●基本情報・プログラム登録申請

<https://kobecity.form.kintoneapp.com/public/ef000009c5af79b1f82ed2a284e82d425c0c04f8d74a302b867ce1f7161d7769>

2. 登録申請時及びプログラムの登録完了時にシステムより電子メールが送信されます。
なお、プログラムの登録完了まで1週間程度かかる場合があります。

公開の可否 *

☐ 公開可 ☐ 公開不可

下記の「確認」ボタンを押すと内容確認画面に移りますので、確認後、次ページ下部の「申請」ボタンを押してください。

※「確認」ボタンだけでは、申請が完了しませんのでご注意ください。

✓ 確認

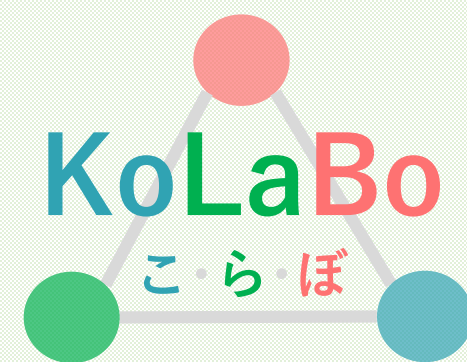
「確認」のあと、登録内容を確認し、「申請」を押す必要があります。
※「確認」のみでは申請が完了しないためご注意ください

入力内容は一時保存可能
※ただし、同じPC(ブラウザ)から
アクセスする必要があります

一時保存

3. プログラムを登録して実施

(参考)公開される情報について



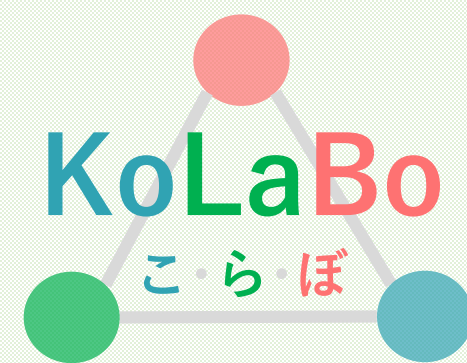
	閲覧者	公開対象	公開される情報
公開ページ	誰でも閲覧可能	「公開可」のプログラムのみ ※取り下げを除く	登録者名／業種／プログラム名／テーマ／関連する教科／対象学年／プログラムの内容／ホームページ
学校用ページ	市立学校のみ閲覧可能	「公開可」「公開不可」のプログラム ※取り下げを除く	担当者情報(部署名／氏名／電話番号／メールアドレス)を除く全ての登録情報 ※担当者情報は、連携授業の実施もしくは実施に向けた相談・問い合わせを行う時点で、対象となる学校に限り提供します。

●公開ページ

<https://394a48f0.viewer.kintoneapp.com/public/1268c50535e7cb5ccfe350ac80ab322163b64f20637fd338c2f9b45804383658>

3. プログラムを登録して実施

①-1 事業者登録・プログラム登録



3. 複数のプログラムを登録いただける場合は、下記ページより、申請ください。

●プログラムの追加登録申請

<https://kobecity.form.kintoneapp.com/public/e05caa3294cf36d40817ebc170ba99f134c96953b386986d4dc6576775c854e4>

4. 登録情報の確認・修正は、下記ページから行っていただけます。

●事業者情報の確認・修正

<https://394a48f0.viewer.kintoneapp.com/public/2d628690d097fc80b0d0f499d300fdcf3625b2561e5dd878aa61c4075decfdcf>

●プログラム情報の確認・修正

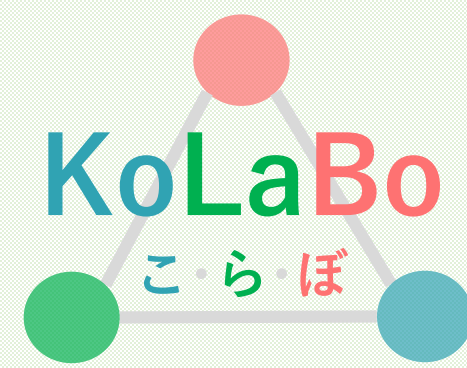
<https://394a48f0.viewer.kintoneapp.com/public/942ab0667368f731c8c678bdadb0fed07f198d49ea0569ce92510cd51952fac0>

※ログイン画面が表示される場合は、「メールアドレスでログイン」を選択し、ご登録いただいたメールアドレスを入力してください。
その後、届いたメールに記載のURLへアクセスして下さい。



3. プログラムを登録して実施

①-2 登録情報の確認・修正



【KoLaBo】登録者情報確認ページ（登録者用）

登録者名	住所
詳細 > 神戸市教育委員会事務局	神戸市中央区東川崎町1丁目3-3 神戸ハーバ

詳細画面から、変更・取り下げページへ

【KoLaBo】登録者情報確認ページ（登録者用）

【KoLaBo】登録者情報確認ページ（登録者用） > 詳細情報

変更

登録情報に修正がある場合は、画面右上の「変更」ボタンを押してください。

【基本情報】

登録者名

神戸市教育委員会事務局

業種

S_公務（他に分類され

添付ファイル

ファイルを選択

最大10MB

KoLaBoロゴ.jpg

下記の「確認」ボタンを押すと内容確認画面に移りますので、確認後、次ページ下部の「申請」ボタンを押してください。

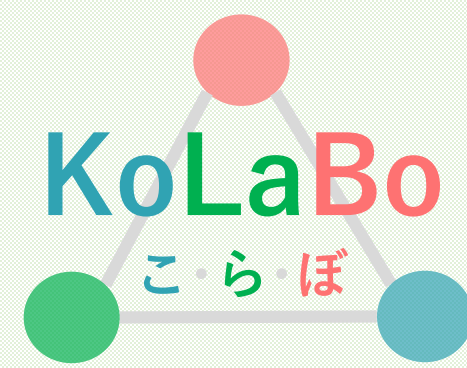
※「確認」ボタンだけでは、申請が完了しませんのでご注意ください。

確認

5. 変更箇所を変更箇所を上書き更新し、「確認」⇒「申請」。
システムより電子メールが送信されます。

3. プログラムを登録して実施

①-3 登録プログラムの取り下げ



6. プログラムの取り下げを希望する場合は、「連携授業登録状況」を「取り下げ」に変更し、「連携授業取り下げ日」に申請日(本日)を入力してください。申請と同時に、取り下げを行います。

【KoLaBo】登録プログラム情報変更ページ（登録者用）

登録者名 *

神戸市教育委員会事務局

連携授業登録状況 *

取り下げ

連携授業取り下げ日 *

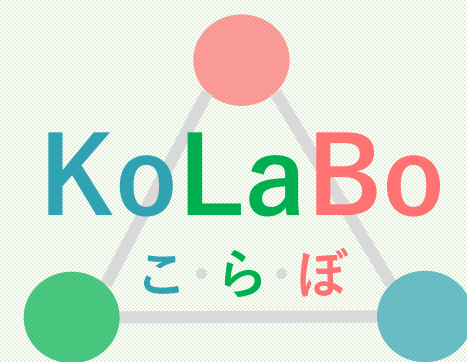
2025-10-01

登録の取り下げを希望する場合は「取り下げ」を選択してください

取り下げを申請する日（本日）を選択してください

3. プログラムを登録して実施

②-1 学校から連携授業(登録プログラム)へ申込



登録いただいたプログラムへ学校から申し込みがあると、メールが届きます。
メールに記載のURLへアクセスし、詳細を確認してください。



2025/10/06 (月) 14:43

神戸市教育委員会事務局 総務課政策係 <autoreply@kintoneapp.com>

【KoLaBo】登録プログラムへの申込がありました

宛先 神戸市教育委員会事務局

このメッセージは、システムより自動送信されています。
返信は受付けておりません。

神戸市教育委員会事務局 様

神戸市教育連携システム「KoLaBo」に登録いただいているプログラムに対し、学校から申込みがありました。
下記ページより詳細を確認いただき、おおよそ1週間以内に対応について回答をお願いいたします。

<https://394a48f0.viewer.kintoneapp.com/public/ef000006b16aeb49591b814fb93cac4749e5315b9d43a4dd0f4bf166750d9c63>

■申込情報

学校名：テスト中学校

申込プログラム名：(例) 水産加工食品から食と環境について学ぼう

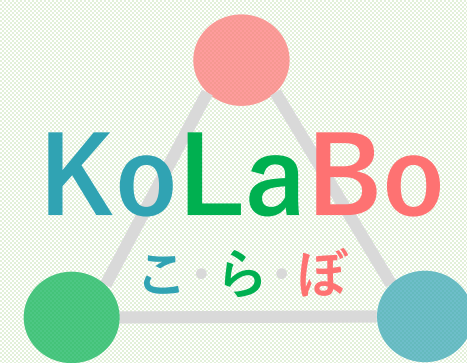
ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

※本メールにお心当たりのない場合は、お手数ですが下記メール宛に
返信いただけますようお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. プログラムを登録して実施

②-2 学校からの相談・問い合わせ



学校が申し込み前に相談や問い合わせを希望する場合にも、メールが届きます。
この場合、学校から改めて電話・メール等でご連絡を差し上げますので、ご対応をお願いいたします。



2025/10/06 (月) 14:40

神戸市教育委員会事務局 総務課政策係 <autoreply@kintoneapp.com>

【KoLaBo】登録プログラムへの相談・問い合わせがありました

宛先 神戸市教育委員会事務局

このメッセージは、システムより自動送信されています。
返信は受付けておりません。

神戸市教育委員会事務局 様

神戸市教育連携システム「KoLaBo」へ登録いただいているプログラムに対し、学校から相談・問い合わせがありました。
学校より、改めてご連絡させていただきます。

■相談・問い合わせ内容

学校名：テスト中学校 授業担当者：中央 花子

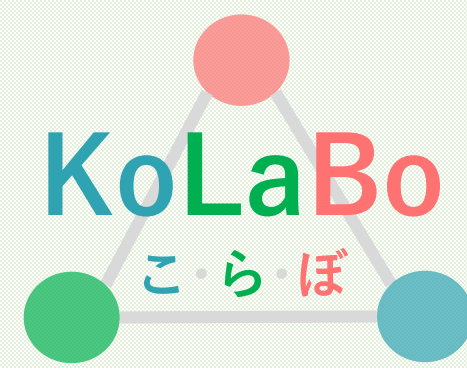
電話番号：078-999-9999

プログラム名：(例) 水産加工食品から食と環境について学ぼう

相談・問い合わせ内容：詳細の内容について問い合わせたいです。

3. プログラムを登録して実施

③ 事業者から学校へ実施可否の回答



【KoLaBo】プログラムへの申込状況確認ページ（登録者用）

登録者回答状況	学校名	プログラム名
詳細 > 未回答	テスト中学校	(例) 水産加工食品から食と環境について学ぼう

詳細画面から、回答ページへ

【KoLaBo】プログラムへの申込状況確認ページ（登録者用）

【KoLaBo】プログラムへの申込状況確認ページ（登録者用） > 詳細情報

回答

以下の申込内容を確認の上、画面右上の「回答」ボタンから回答をお願いします。

【申込のあったプログラム】

登録者の回答 *

一度、学校と相談したい

「承諾する」または「一度、学校と相談したい」を選択すると、回答先の学校にご登録いただいている担当者様の氏名・連絡先が通知されます

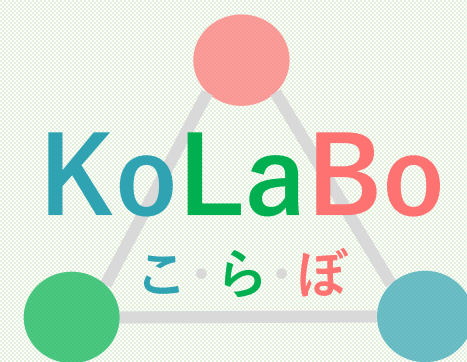
備考

実施日程と内容の詳細について、一度相談をさせてください

P.18のメールからアクセスしたページで、学校からの申し込み内容を確認の上、回答ページで回答(実施可否または要相談)を入力してください。

3. プログラムを登録して実施

④ 連携授業の調整・実施



1. 回答すると、システムより電子メールが送信されます。
「承諾する」または「一度、学校と相談したい」と回答いただいた場合は、学校から改めて電話・メール等でご連絡させていただきますので、連携授業の実施に向けて、相談・調整をお願いいたします。(ここから先はシステム外のやりとりになります)
2. 連携授業実施後に、アンケートをお送りしますので、ご協力をお願いいたします。



2025/10/06 (月) 14:53

神戸市教育委員会事務局 総務課政策係 <autoreply@kintoneapp.com>

【KoLaBo】学校からの応募に対する回答を受け付けました

宛先 神戸市教育委員会事務局

このメッセージは、システムより自動送信されています。
返信は受付けておりません。

神戸市教育委員会事務局 様

神戸市教育連携システム「KoLaBo」登録プログラムへの学校からの応募に対してご回答いただき、ありがとうございます。
「承諾する」または「一度、学校と相談したい」と回答いただいた場合は、学校より改めてご連絡させていただきます。

プログラム名：(例) 水産加工食品から食と環境について学ぼう

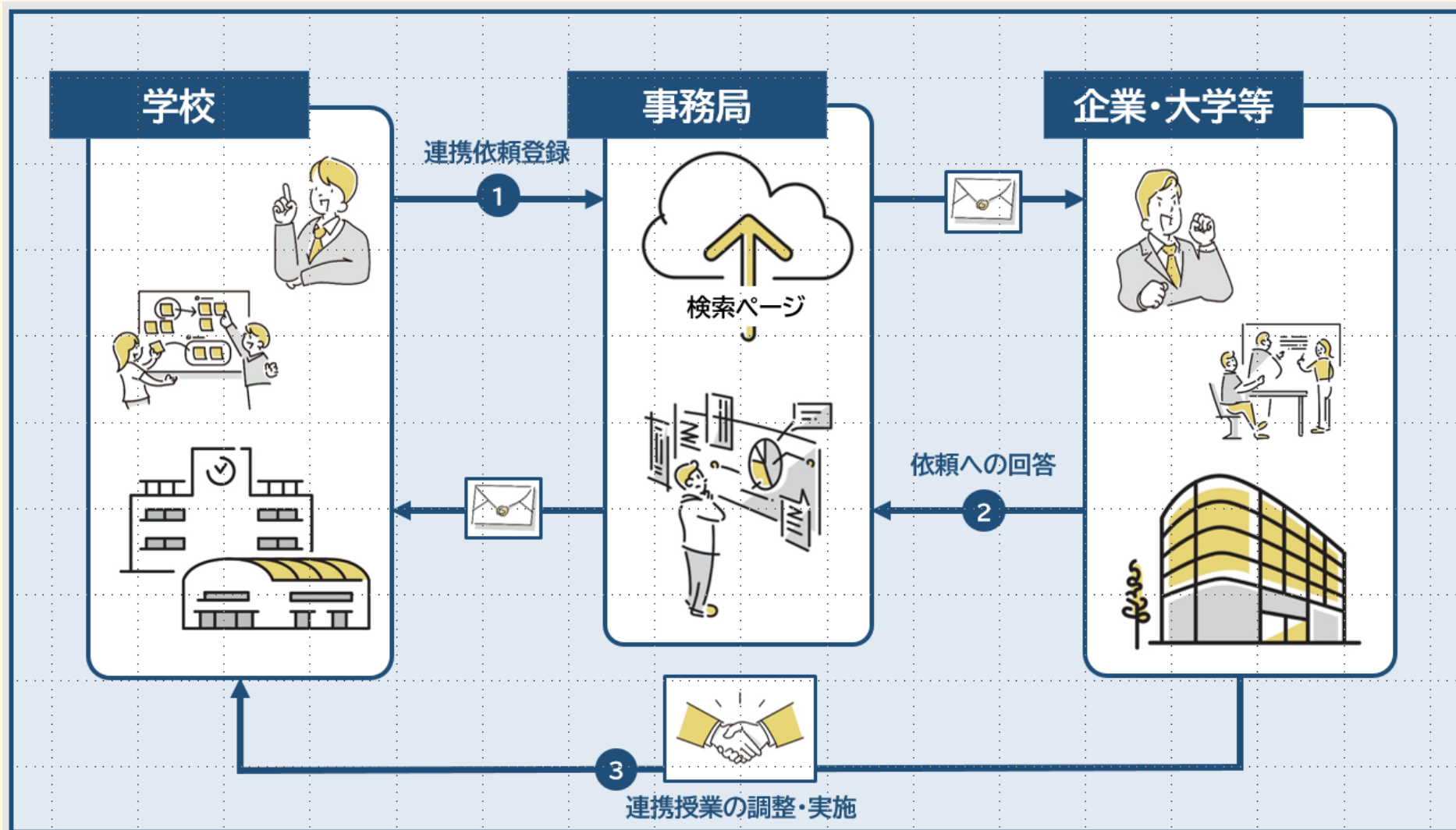
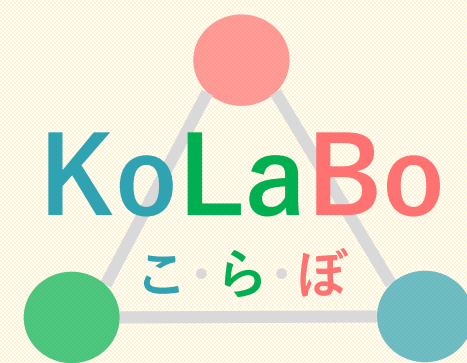
回答：一度、学校と相談したい

学校名：テスト中学校 授業担当者名：中央 花子

学校電話番号：

4. 学校からの連携依頼に協力して実施

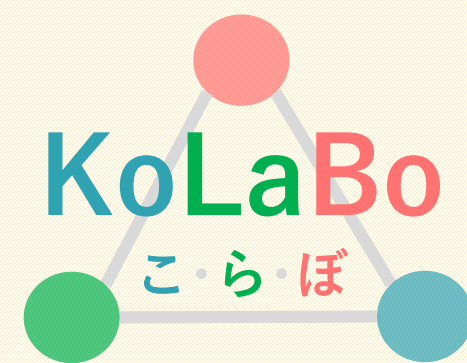
連携授業実施の流れ



- ① 学校からの連携依頼
(授業内容)登録
- ② 協力可能な事業者から
回答
- ③ 連携授業の調整・実施

4. 学校からの連携依頼に協力して実施

① 学校からの連携依頼(授業内容)登録



学校から、登録事業者への連携依頼が登録されると、登録事業者宛にメールが送信されます。依頼内容は、メールに記載のURLから確認いただけます。



2025/09/24 (水) 17:26
産官学連携プラットフォーム <eduplan@kobecity.onmicrosoft.com>
【KoLaBo】学校からの連携依頼が新たに登録されました

宛先 aya_umakoshi@city.kobe.lg.jp

様

このメールは、神戸市教育連携プログラム【KoLaBo】に登録をいただいている方へお送りしています。

【KoLaBo】に学校からの連携依頼が新たに登録されました。

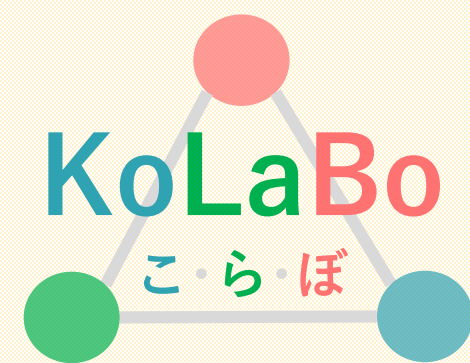
依頼内容は下記ページよりご確認いただけます。
<https://394a48f0.viewer.kintoneapp.com/public/a808bf2a25ad436cd777d1e8324187dcb0717a471e49915d3caa7f75f0b48b8d>

ご協力をいただける場合、または一度学校と相談を希望される場合は、上記ページより「回答」ボタンを押していただき、学校への回答をお願いいたします。

その後、学校より連絡をさせていただきます。

4. 学校からの連携依頼に協力して実施

② 協力可能な事業者から回答



【KoLaBo】学校からの連携依頼一覧（登録者用）

	学校名	学習プログラム名	連携授業で登録者に実施いただきたいこと
詳細 >	テスト中学校	学習プログラム名を記載	連携授業で登録者に実施いただきたいこと（連携授業の概要）

【KoLaBo】学校からの連携依頼一覧（登録者用）

[【KoLaBo】学校からの連携依頼一覧（登録者用）](#) > [詳細情報](#)

ご協力いただける場合は、画面

詳細画面から、回答ページへ

[回答](#)

登録者の回答 *

実施に向けて相談したい

回答いただくと、ご登録いただいている担当者様の氏名・連絡先が回答先の学校に通知されます

【実施可能な内容について】

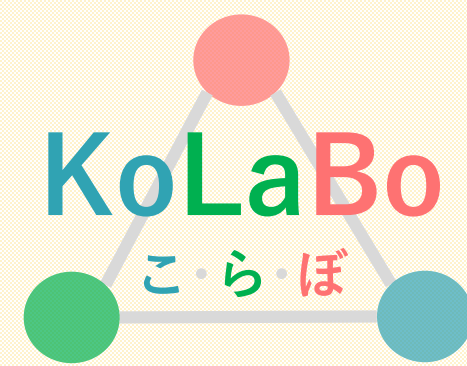
以下、現時点でお分かりになる範囲で入力をお願いいたします。

実施可能な内容

P.23のメールからアクセスしたページで、学校からの依頼内容を確認いただけます。協力いただける場合は、回答ページから回答(実施可または要相談)を入力してください。

4. 学校からの連携依頼に協力して実施

③ 連携授業の調整・実施



1. 回答すると、システムより電子メールが送信されます。
学校から改めて電話・メール等で連絡させていただきますので、連携授業の実施に向けて、相談・調整をお願いいたします。(ここから先はシステム外のやりとりになります)
2. 連携授業実施後に、アンケートをお送りしますので、ご協力をお願いいたします。



2025/10/06 (月) 21:14
神戸市教育委員会事務局 総務課政策係 <autoreply@kintoneapp.com>
【KoLaBo】学校からの連携依頼への回答を受け付けました

宛先 神戸市教育委員会事務局

このメッセージは、システムより自動送信されています。
返信は受付けておりません。

神戸市教育委員会事務局 様

神戸市教育連携システム「KoLaBo」の学校からの連携依頼にご回答いただき、誠にありがとうございます。
依頼元の学校より、ご担当者様宛に改めてご連絡差し上げます。

回答先：テスト中学校
プログラム名：学習プログラム名を記載
授業担当者名：中央 花子
学校電話番号：078-999-9999

ふるっでの
情報提供をお願いします。

神戸市教育委員会事務局
学びの推進課